令和3年度	教科	科目	単位数	年次	必修/選択	科目担当者
		むかわ学Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	必修	全教員
使用教科書			副教材等			
なし			なし			

【 科目のねらい 】

地域の自然や歴史、産業等を学ぶことにより、地域理解や地域愛を育むとともに、探究活動を通して持続可能な地域創生のための基礎的な知識や技能を身に付ける。

【 評価の観点 】(どのような力を身に付け、何ができるようになるか)

		①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
育成を目指す資質・能力		●基礎的な知識・技能 ●情報活用力	●コミュニケーション力 ●課題設定・解決力 ●批判的思考力	●自己理解・成長力 ●他者とチームで活動する力 ●組織に求められる人間性
	A	持続可能な地域創生のための基礎的な知識・技能を身に付け、言語・数量・情報が意図するものを理解することができる。	持続可能な社会の創り手として、課題に対して新たな解決方法を考え、客観的・論理的に相手と議論することができる。	主体的に地域と関わり、チームでの役割を自覚して探究する態度を身に付けている。
	B	持続可能な地域創生のための基礎的な知識・技術を身に付け、言語が意図するものを理解できる。	地域の課題に対して問いを設定し、新たな解決方法を考え、相手と議論することができる。	地域と関わりながら、他者とチームで探究する態度を身に付けている。
	C	持続可能な地域創生のための基礎的な知識・技術を理解することができる。	地域の課題に対して「なぜ」という疑問をもち、相手に自分の意見を伝えることができる。	チームの目標を共有し、地域の方々との交流を行うことができる。
具体的な評価方法		(1)授業ワークシート (2)発表準備・態度	(1)授業ワークシート (2)発表内容 (3)発表準備・態度	(1)授業ワークシート (2)発表準備・態度
割合		30%	40%	30%

【 学びの方法 】(何で(教材)、どのように(授業の方法、学び方)学ぶか)

授業への取組	以下のとおり探究的な学習活動を行う。 (1)講義等をもとに、**課題を設定**する。 (2)巡検や視察、調べ学習を通して**情報を収集**する。 (3)個人やグループ活動を通じて、収集した情報を**整理・分析**して思考する。 (4)気づきや発見、考えなどを**まとめ**振り返るとともに、レポートや**発表**等で表現する。
学びの留意点	(1)講義はメモを取りながら聴き、情報収集を確実に行うようにする。 (2)巡検・視察では、さらに情報収集を行うとともに、得た情報を自分の目で確認したり、体験するようにする。 (3)グループ活動では、情報収集したものをもとに討議を行い、論理的に考え、まとめるようにする。 (4)発表会では、視聴覚教材等を利用して聞き手に分かりやすく発表するようにする。
主体的な学びの進め方	・授業時間外にも、課題に関わる情報収集や整理・分析、まとめ、表現方法を工夫してください。 ・町内の方々と積極的に関わり、インターネットでは分からない情報を集めてください。
備考	

【 年間計画 】(いつ何を学ぶか)

月	考査範囲	単元	内容	ねらい	時数	評価の観点 ①	②	③
4		オリエンテーション	○科目のねらいと目標 ○年間スケジュール ○学習のまとめ方	「むかわ学Ⅰ」のねらいや目標、1年間の学びの進め方を理解できる。	1			○
5	前期	むかわの自然環境と歴史	○むかわの自然	むかわの自然について講義を聴き、情報収集を行うことができる。	1	○		
			○むかわの化石	むかわの化石について講義を聴き、情報集を行うことができる。	1	○		
			○むかわの歴史	むかわの歴史について講義を聴き、情報集を行うことができる。	1	○		
6			○人工干潟見学 ○化石発掘 ○博物館見学	巡検を通して、講義で聴いた知識を深め、さらに実際に体験することで定着させることができる。	6	○	○	
				積極的に、専門家や現地の方と関わり、巡検でしか得られない情報を収集することができる。				○
			○巡検まとめ	巡検で得た知識をもとに、疑問や課題を見いだすことができる。	1		○	
7			○前期発表会準備①	チームで活動しながら、課題解決の方法を身に付けることができる。	1		○	○
			○前期発表会準備②		1		○	○
8			○むかわ学Ⅲ中間発表会見学	「むかわ学Ⅲ」の発表会を見学することで、自分たちに必要な知識・技術を理解し、先を見通した活動を計画できる。	2	○	○	
9			○前期発表会準備③	チームで活動しながら、課題解決の方法を身に付けることができる。	1		○	○
			○前期発表会準備④		1		○	○
			○前期「活動のまとめ」発表会	学んだことを整理・分析し、相手に伝えることができる。	2		○	
10	後期	むかわの産業	○前期まとめ	前期の活動を振り返り、後期の活動の計画を立てることができる。	1			○
			○むかわの漁業・農業	むかわの漁業・農業について講義を聴き、情報集を行うことができる。	1	○		
			○漁組、漁協、漁港見学 ○農家巡検	巡検を通して、講義で聴いた知識を深め、さらに実際に体験することで定着させることができる。	3	○	○	
				積極的に、専門家や現地の方と関わり、巡検でしか得られない情報を収集することができる。			○	
			○巡検まとめ	巡検で得た知識をもとに、疑問や課題を見いだすことができる。	1		○	
11			○後期発表会準備①	チームで活動しながら、課題解決の方法を身に付けることができる。	1		○	○
			○後期発表会準備②		1		○	○
			○後期発表会準備③		1		○	○
			○後期「活動のまとめ」プレ発表会	学んだことを整理・分析し、相手に伝えることができる。	2		○	○
12		1年間のまとめ 次年度にむけて	○後期「活動のまとめ」発表会	学んだことを整理・分析し、相手に伝えることができる。	2		○	
			○むかわ学Ⅲ提言発表会見学	「むかわ学Ⅲ」の発表会を見学することで、自分たちに必要な知識・技術を理解し、先を見通した活動を計画できる。	3	○	○	
1～3								

令和3年度	教科	科目	単位数	年次	必修/選択	科目担当者
		むかわ学Ⅱ	1	2	必修	全教員
使 用 教 科 書			副 教 材 等			
なし			なし			

【 科目のねらい 】

むかわ町の行政と課題等を学ぶことにより、地域理解や地域愛を育むとともに、探究活動を通して持続可能な地域創生のための基礎的な知識や技能を身に付ける。

【 評価の観点 】(どのような力を身に付け、何ができるようになるか)

		①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
育成を目指す資質・能力		●基礎的な知識・技能 ●情報活用力	●コミュニケーション力 ●課題設定・解決力 ●批判的思考力	●自己理解・成長力 ●他者とチームで活動する力 ●組織に求められる人間性
	A	持続可能な地域創生のための基礎的な知識・技能を身に付け、言語・数量・情報が意図するものを正しく理解するとともに、それらを道具として活用することができる。	持続可能な社会の創り手として、課題に対して問いを設定、解決方法を提案し、客観的、論理的な視点で、相手と議論することができる。	多角的な地域理解に基づき、積極的に地域と関わり、チームの先頭に立って探究する態度を身に付けている。
	B	基礎的な知識・技術を身に付け、言語・数量・情報が意図するものを正しく理解することができる。	持続可能な社会の創り手として、課題に対して問いを設定、解決方法を提案し、相手と議論することができる。	多角的な地域理解に基づき、地域と関わりながら、チームでの役割を自覚して探究する態度を身に付けている。
	C	基礎的な知識・技術を身に付け、言語が意図するものを正しく理解することができる。	地域の課題に対して問いを設定、解決方法を提案し、相手に自分の意見を伝えることができる。	地域と関わりながら、他者とチームで探究する態度を身に付けている。
具体的な評価方法		(1)授業ワークシート (2)発表準備・態度	(1)授業ワークシート (2)発表内容 (3)発表準備・態度	(1)授業ワークシート (2)発表準備・態度
割合		30%	40%	30%

【 学びの方法 】(何で(教材)、どのように(授業の方法、学び方)学ぶか)

授業への取組	以下のとおり探究的な学習活動を行う。 (1)講義等をもとに、**課題を設定**する。 (2)巡検や視察、調べ学習を通して**情報を収集**する。 (3)個人やグループ活動を通じて、収集した情報を**整理・分析**して思考する。 (4)気づきや発見、考えなどを**まとめ**振り返るとともに、レポートや**発表**等で表現する。
学びの留意点	(1)講義はメモを取りながら聴き、情報収集を確実に行うようにする。 (2)巡検・視察では、さらに情報収集を行うとともに、得た情報を自分の目で確認したり、体験するようにする。 (3)グループ活動では、情報収集したものをもとに討議を行い、論理的に考え、まとめるようにする。 (4)発表会では、視聴覚教材等を利用して聞き手に分かりやすく発表するようにする。
主体的な学びの進め方	・授業時間外にも、課題に関わる情報収集や整理・分析、まとめ、表現方法を工夫してください。 ・町内の方々と積極的に関わり、インターネットでは分からない情報を集めてください。
備 考	

【 年間計画 】(いつ何を学ぶか)

月	考査範囲	単元	内容	ねらい	時数	評価の観点 ①	②	③
4	前期	オリエンテーション	○科目のねらいと目標 ○年間スケジュール ○学習のまとめ方	「むかわ学Ⅱ」のねらいや目標、1年間の学びの進め方を理解できる。	1			○
5	前期	むかわの産業と福祉	○むかわの農業	むかわの農業について講義を聴き、情報収集を行うことができる。	1	○		
			○農場、農協見学	巡検を通して、講義で聴いた知識を深め、さらに実際に体験することで定着させることができる。	4	○	○	
				積極的に、専門家や現地の方と関わり、巡検でしか得られない情報を収集することができる。				○
			○むかわの福祉	むかわの福祉について講義を聴き、情報収集を行うことができる。	1	○		
			○福祉施設見学	巡検を通して、講義で聴いた知識を深め、さらに実際に体験することで定着させることができる。	2	○	○	
				積極的に、専門家や現地の方と関わり、巡検でしか得られない情報を収集することができる。				○
6	前期	むかわの産業と福祉	○巡検まとめ	巡検で得た知識をもとに、疑問や課題を見いだすことができる。	1		○	
			○「課題発表会」準備①	チームで活動しながら、課題解決の方法を身に付けることができる。	1		○	○
7	前期	むかわの産業と福祉	○むかわ学Ⅲ中間発表会見学	「むかわ学Ⅲ」の発表会を見学することで、自分たちに必要な知識・技術を理解し、先を見通した活動を計画できる。	2	○	○	
8	前期	むかわの産業と福祉	○「課題発表会」準備②	チームで活動しながら、課題解決の方法を身に付けることができる。	1	○	○	○
			○「課題発表会」準備③		1	○	○	○
9～11	前期	むかわの産業と福祉	○「課題発表会」	学んだことを整理・分析し、相手に伝えることができる。	2	○	○	
			○ゼミ別課題テーマ検討	生徒間や教員との対話を通して、適切な仮説を設定することができる。	1		○	
			○テーマ別ゼミ選択	課題解決に向けて有効な方策を考え、計画を立てることができる。	1		○	
9～11	後期	テーマ別課題研究	○ゼミ別課題研究①(3年合同)	3年生との共同作業を通して、自分に足りない知識・技術を吸収したり、新たな課題を見いだすことができる。	1	○	○	
			○ゼミ別課題研究②(3年合同)		1	○	○	
			○ゼミ別課題研究③(3年合同)	主体的に他者と関わり、多様な視点で課題に取り組むことができる。	1			○
12	後期	テーマ別課題研究	○むかわ学Ⅲ提言発表会見学	「むかわ学Ⅲ」の発表会を見学することで、自分たちに必要な知識・技術を理解し、先を見通した活動を計画できる。	3	○	○	
1	後期	テーマ別課題研究	○2年ゼミ別課題研究発表準備①	チームで活動しながら、課題解決の方法を実行することができる。	1		○	○
2	後期	むかわの観光	○むかわの観光①	むかわの観光について講義を聴き、情報収集を行うことができる。	1	○		
			○むかわの観光②	演習を通して、町の課題に対する解決方法を身につけることができる。	1		○	○
			○むかわの観光③	演習を通して、新たなものを創造することができる。	1		○	○
2	後期	テーマ別課題研究	○2年ゼミ別課題研究発表準備②	チームで活動しながら、課題解決の方法を実行することができる。	1	○	○	○
			○2年ゼミ別課題研究発表準備③	チームで活動しながら、課題解決の方法を実行することができる。	1	○	○	○
3	後期	テーマ別課題研究	○「2年ゼミ別課題研究」プレ発表会	むかわ町が抱える課題を整理・分析し、相手に伝えることができる。	2	○	○	○
			○「2年ゼミ別課題研究」発表会	学んだことを整理・分析し、相手に伝えることができる。	2	○	○	

令和3年度	教科	科目	単位数	年次	必修/選択	科目担当者
		むかわ学Ⅲ	1	3	必修	全教員
使 用 教 科 書			副 教 材 等			
なし			なし			

【 科目のねらい 】

むかわ町の未来を構想する活動を通して、生活の基盤としての地域を理解し、それを支え形成する一員としての自覚を育むとともに、探究・提案・発表活動を通して持続可能な地域創生のための基礎的な知識や技能を身に付ける。

【 評価の観点 】(どのような力を身に付け、何ができるようになるか)

		①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
育成を目指す資質・能力		●基礎的な知識・技能 ●情報活用力	●コミュニケーション力 ●課題設定・解決力 ●批判的思考力	●自己理解・成長力 ●他者とチームで活動する力 ●組織に求められる人間性
	A	持続可能な地域創生のための基礎的な知識・技能を身に付け、言語・数量・情報が意図するものを正しく理解するとともに、それらを道具として目的に応じて適切に活用することができる。	持続可能な社会の創り手として、課題に対して問いを設定、創造的な解決方法を提案し、客観的、論理的な視点で、相手と対話することを通じて、課題解決に向けて計画的に実行できる。	多角的な地域理解に基づき、地域創生を念頭に置いて、主体的に地域と関わり積極的に地域の方々との交流を行い、チームの先頭に立ち、深く探究する態度を身に付けている。
	B	基礎的な知識・技術を身に付け、言語・数量・情報が意図するものを理解し、用いることができる。	持続可能な社会の創り手として、課題に対して問いを設定、解決方法を提案し、客観的、論理的な視点で、相手と議論しながら、優先順位をつけて行動できる。	多角的な地域理解に基づき、地域創生を念頭に置いて、他者とチームで活動し、地域と関わりながら、探究する態度を身に付けている。
	C	基礎的な知識・技術を身に付け、言語・数量・情報が意図するものを理解することができる。	地域の課題に対して問いを設定、解決方法を提案し、相手と議論することができる。	多角的な地域理解に基づき、地域創生を念頭に置いて、チームでの役割を自覚して、地域の方々との交流することができる。
具体的な評価方法		(1)授業ワークシート (2)発表準備・態度	(1)授業ワークシート (2)発表内容 (3)発表準備・態度	(1)授業ワークシート (2)発表準備・態度
割合		30%	40%	30%

【 学びの方法 】(何で(教材)、どのように(授業の方法、学び方)学ぶか)

授業への取組	テーマ毎の**ゼミ形式**で、探究活動を進めます。 (1)1、2年次の活動をもとに、**課題を設定**する。 (2)巡検や視察、調べ学習を通して**情報を収集**する。 (3)個人やグループ活動を通じて、収集した情報を**整理・分析**して思考する。 (4)気づきや発見、考えなどを**まとめ**振り返るとともに、レポートや**発表**等で表現する。
学びの留意点	(1)講義はメモを取りながら聴き、情報収集を確実に行うようにする。 (2)巡検・視察では、さらに情報収集を行うとともに、得た情報を自分の目で確認したり、体験するようにする。 (3)グループ活動では、情報収集したものをもとに討議を行い、論理的に考え、まとめるようにする。 (4)発表会では、視聴覚教材等を利用して聞き手に分かりやすく発表するようにする。
主体的な学びの進め方	・授業時間外にも、課題に関わる情報収集や整理・分析、まとめ、表現方法を工夫してください。 ・町内の方々と積極的に関わり、インターネットでは分からない情報を集めてください。
備 考	

【 年間計画 】(いつ何を学ぶか)

月	考査範囲	単元	内容	ねらい	時数	評価の観点 ①	②	③
4		オリエンテーション	○科目のねらいと目標 ○年間スケジュール ○学習のまとめ方	「むかわ学Ⅲ」のねらいや目標、1年間の学びの進め方を理解できる。	1			○
5		むかわの行政	○むかわの行政(役場職員	むかわの行政について講義を聴き、情報収集を行うことができる。	1	○		
			○むかわの行政(町長)	むかわの行政について講義を聴き、情報収集を行うことができる。	1	○		
			○むかわの行政まとめ	講義で得た知識をもとに、疑問や課題を見いだすことができる。	1		○	
6		プレゼンテーション	○プレゼンテーション研究①	相手により分かりやすく伝える方法や、相手を惹きつける技術を身につけることができる。	1	○		
			○プレゼンテーション研究②		1		○	
	前期	探究学習	○ゼミ別課題研究①	これまで得た知識をもとに、課題解決方を模索することができる。	1	○	○	○
			○ゼミ別課題研究②	チームで活動しながら。課題解決の方法を身に付けることができる。	1	○	○	○
			○ゼミ別課題研究③		1	○	○	○
7			○ゼミ別課題研究④	積極的に地域の方と関わりながら探求活動を実行できる。	1	○	○	○
			○ゼミ別課題研究⑤		1	○	○	○
			○プレ中間発表会	むかわ町が抱える課題を整理・分析、自分たちで創造した提案を相手に伝えることができる。	2	○	○	○
8 ~ 10			○中間発表会	むかわ町が抱える課題を整理・分析、自分たちで創造した提案を相手に伝えることができる。	2	○	○	
11			○課題の整理	これまで得た知識をもとに、課題解決方を模索することができる。	1	○	○	○
			○課題の提言準備①		1	○	○	○
			○課題の提言準備②	チームで活動しながら。課題解決の方法を身に付けることができる。	1	○	○	○
			○課題の提言準備③		1	○	○	○
	後期		○課題の提言準備④	積極的に地域の方と関わりながら探求活動を実行できる。	1	○	○	○
			○課題の提言準備⑤		1	○	○	○
			○課題の提言準備⑤		1	○	○	○
12			○プレ提言発表会①	むかわ町が抱える課題を整理・分析、自分たちで創造した提案を相手に伝えることができる。	3	○	○	○
						○	○	○
						○	○	○
			○提言発表会	むかわ町が抱える課題を整理・分析、自分たちで創造した提案を相手に伝えることができる。	2	○	○	
1			○地域創生全国探究コンテスト応募準備①	発表会の反省を踏まえて、コンテストに応募する作品づくりを通して、地域貢献の姿勢を身につけることができる。	1		○	○
			○反省とまとめ	3年間の反省とまとめをとおして、持続可能な社会の創り手としての態度を身につける。	1		○	○
			○2年生へ		1		○	○